

第9回 日田スギデザイン会議 報告書

日時：平成29年1月26日（木）19:00～21:00

場所：市役所303会議室

第9回の会議ではバスセンター内における木質ベンチについて重点的に会議を進めた。第8回の会議後に日田バスと協議をおこない、ベンチの設置について概ねの了解を得た。その中で、

- ・デザインの詳細については提案を受けて再協議するが、現段階での要望としては通り抜けのできる配置・デザインとすること。
- ・配置等の変化に対応できるように持ち運びがある程度、容易なものとしてほしい。

上記の内容を受け、家具工業会に事前協議をおこなった。家具工業会からは以下の内容の返答を受けた。

- ・年度内に製作できる数は限られるが、納品できる数については家具工業会の各社が自社広告を入れて納品する。
- ・杉を材料として使うのであれば、強度的に1脚で4人掛けは難しい。
- ・日田市の玄関口ということでPR等のパネル展示で啓発活動をする。（費用は別途）

上記の経緯を受け、本会議では以下の検討がおこなわれた。

- ・不足分への対応：不足する脚数分については、新年度に新たにスポンサーを募って財源を確保し制作する。スポンサーを募る先については一般向けか、林業・木材産業関係者向けに限定するかは検討が必要。
- ・啓発活動について：普及啓発の方法としては日田の林業の歴史をパネル展示するものとし、財源については負担金で対応できないか。
- ・デザインについて：個々で別々のデザインとはせず、すべてのベンチで統一したものとし、スポンサー広告は背面に彫る。公共の場所での設置なので、奇抜なものせず、耐久性を持たせながら、技術が活かしたデザインとする。
- ・今回のバスセンターのベンチ木質化をきっかけに他の施設等への啓発活動につながることを望ましい。追々は一般消費者向けのベンチとしても売り出し、商売につながることを大事。

今後は家具工業会とデザイン詳細の検討をおこない、年度内納品台数を確認し、日田バスと再協議を行う。また、次回の会議では次年度以降に重点的に取り組む内容をこれまでに議題に上がった内容と別途各自で検討した新たな議題を加え、検討をおこなう。

次回開催は年度内におこなうが、日時は未定。